

参考資料1

第3回 久米島町庁内検討委員会 議事概要・議事録

日時：令和7年11月10日（月）10:30～11:30

場所：久米島町役場本庁舎2階第3・4会議室

役職	氏名	役職	氏名
町長	桃原 秀雄	福祉課長	吉永 みゆき
副町長	中村 幸雄	税務課長	東恩納 則夫
教育長	宇江城 詮	町民課長	宮里 誠
商工観光課長	山里 昌樹	建設課長	大城 学
博物館 館長	宮良 みゆき	環境保全課長	浜元 敏明
プロジェクト推進課長	濱元 尚哉	空港管理事務所所長	上原 あゆみ
議会事務局長	吉永 安史	消防本部 消防長	新垣 健
上下水道課長	盛長 哲也	産業振興課長	大田 直樹
教育課長	古堅 宗治	総務課長	幸地 伸也
出納室長	吉永 千枝美	こども未来課	宮里 みかよ
事務局			
企画財政課長	當間 直也	(株)国建 まち・しまデザイン部	山城 一斗
企画財政課班長	城間 忠	(株)国建 まち・しまデザイン部	上机 竜介
企画財政課主事	村吉 奈緒美	(株)国建 まち・しまデザイン部	宮里 公輔

次第	配布資料
1. 開会 2. 開催報告 <ul style="list-style-type: none"> 第4回職員ワーキング 住民ワークショップ 3. 審議 <ul style="list-style-type: none"> ① 基本施策（素案） ② リーディングプロジェクト（修正案） 4. 閉会	次第 資料1：基本施策（素案） 資料2：リーディングプロジェクト（修正案） 参考資料1：第2回庁内委員会及び第4回審議会議事録・議事概要 参考資料2：開催報告 参考資料3：基本施策紙面レイアウトラフ

—議事概要—

No.	意見要旨	対応
① 前期基本計画__基本施策(素案)【資料1】【参考資料3】		
1	パプコメも含む計画策定にあたる全体スケジュールを示してほしい。	基本施策は1月までに概ね完成予定。今後、施策確認・KPI設定・製本作業を実施し、詳細スケジュールは改めて提示。
2	職員ワーキング後にフィードバックがなかったとの声があるため、今後は実施後の共有を検討してほしい。	職員ワーキング等の報告はHPに掲載済みだが、HPへ到達しづらいとの意見もあるため、周知方法を検討。
3	基本施策の構成は、現状と課題を分けた(案2)が住民にも説明しやすい。	意見を踏まえ、(案2)の方向性で検討。
② 前期基本計画__リーディングプロジェクト(修正案)【資料2】		
1	KPIに「アンケート」を用いているが、今後アンケートを実施するという意味か。	KPIは仮置きであり、基本施策のKPIと同様に、今後の検討で設定する。
2	LP5(コンパクトに繋がる島づくり)の土地利用方針に、今後各課で変更が生じた場合の総合計画との整合性を確認したい。	LP5は国土利用計画を踏襲して作成しているため、各課で変更がある場合は総合計画および国土利用計画に即した土地利用を行うべき。

—議事録—

1. 開会

- 開会のあいさつ(城間班長)

2. 審議

① 前期基本計画__基本施策(素案)__【資料1】【参考資料3】

(事務局による資料説明)

事務局	前期基本計画__基本施策(素案)について、ご意見をいただきたい。
教育課長	2026年3月議会に第3次久米島総合計画を提出するにあたり、計画策定作業は2026年1月ごろに概ね完了するのか確認したい。また、このスケジュールを踏まえると、基本施策の修正はいつまで可能なのか知りたい。あわせて、今後のスケジュールも改めて教えてほしい。
事務局	今後は、基本施策の確認・ブラッシュアップ、KPIの設定、製本用レイアウト作業を進めながら、職員ワーキングで基本施策内容について、町職員の確認を行う。最終の審議会は2月ごろを予定しているため、基本施策の内容は1月までに概ね完成させるつもりだ。
教育課長	パブリックコメントを含む、詳細なスケジュールを追って示してほしい。
副町長	パブコメは、町民が主体的に総合計画の策定に関わる重要な機会である。住民ワークショップに参加できなかった町民のためにも、ぜひ開催してほしい。
事務局	事務局としても、パブリックコメントは市民に開かれた重要な機会だと考えている。しかし、開催時期については現時点で十分に検討できていないため、今後事務局としても時期を含めて検討を進めていく。
事務局(コンサル)	パブリックコメントの開催時期については、最終審議会前に実施する方法と、最終審議会で承認された内容を公開して実施する方法の2パターンが考えられる。庁内委員の意見も踏まえ、今後、事務局で開催時期を詰めていきたい。
福祉課長	職員ワーキングの参加者から、ワーキング後のフィードバックや進捗報告がなかったという声があった。今後は、職員ワーキングの実施後にフィードバックや進捗共有を行うことを検討してはどうか。
事務局	第三次総合計画策定にあたり、職員ワーキングのまとめや、審議会・庁内検討委員会の議事録等は町のHPで公表している。
福祉課長	町民からは、町のHPの情報にたどりつきにくいという意見があった。
事務局	職員ワーキングや住民ワークショップなどの各種報告については、周知方法を検討していきたい。
事務局(コンサル)	<p>第三次総合計画の製本に向けて、【資料1:基本施策(素案)】は【参考資料3:基本施策紙面レイアウトラフ】のように、表現や文字量の調整を今後行っていく予定である。その際、基本施策の構成について、(案1)「現状と課題を一括で整理する方法」と(案2)「現状と課題を区分して整理する方法」のどちらが望ましいか、ご意見をいただきたい。</p> <p>(案1)は、第2次総合計画と同様に現状と課題をまとめて記載するため、文字量を抑えられ、住民にとって読みやすいという利点がある。一方、(案2)は現状と課題を分けて整理するため文字量は増えるが、町職員にとって「現状→課題→施策展開」という計画立案の流れが理解しやすく、業務への活用にもつながる。</p>

副町長	基本施策の構成としては、文字量が増えたとしても、現状と課題を分けて記載する(案2)の方が、住民にも説明しやすく、分かりやすいと考える。
教育課長	基本構想およびコンセプト「未来につむぐ久米島らしさ」については、前年度案から変更していないという認識で相違ないでしょうか。
事務局	基本構想およびコンセプトについては、変更していない。
教育課長	基本構想では、人口減少が進む中でも、産業の発展を通じて「稼げる島」を目指している。町職員間でも、この基本構想について共通認識をもつ必要があると考える。
事務局(コンサル)	基本構想については、住民ワークショップや職員ワーキングを通じて共通認識の醸成を図ってきたが、今後は職員ワーキング等で改めて確認する機会を設けるつもりだ。

② 前期基本計画_リーディングプロジェクト(修正案)_【資料2】

(事務局による資料説明)

産業振興課長	リーディングプロジェクトのKPIは「アンケート」を指標にしているが、これは今後アンケートを実施するという意味か。
事務局	KPIの設定は仮置きである。基本施策のKPIと同様に、今後の検討で定めていく。
教育課長	LP5(コンパクトに繋がる島づくり)の土地利用の考え方について、今後各課で土地利用の方針に変更が生じた場合、総合計画との整合性をどのように図るのか。
事務局(コンサル)	LP5(コンパクトに繋がる島づくり)は国土利用計画を踏襲して作成している。そのため、各課で変更がある場合は、総合計画および国土利用計画に即した土地利用を行うべきだと考える。
教育課長	今後、国土利用計画を総合計画の中に位置づけることができるのであれば、町の財政的にも負担が軽減できる。他の地方公共団体でも同様の位置づけを行っているケースもある。
事務局(コンサル)	(例えば、)都市マスタープランで土地利用の方針を定めるが、国土利用計画の個別施策を都市マスタープランや総合計画に集約することは難しいと考える。そのため、土地利用の具体方策については、総合計画に基づき、これまでどおり国土利用計画の中で策定したほうがよいと考える。

3. 閉会

- ・ 閉会のあいさつ。(城間班長)

以上



第5回 久米島町振興計画審議会 議事概要・議事録

日時：令和 7 年 11 月 10 日(月)14:00～16:00

場所：久米島町役場本庁舎 2 階第 3・4 会議室

区分	氏名	所属	出席
会長	小島 肇	琉球大学 准教授	○
副会長	村吉 政太	久米島紬事業協同組合 参事	×
委員	半嶺 通男	久米島町特別顧問・久米島高校元校長	○
	津波 勝代	沖縄県立看護大学 島嶼保健看護アドバイザー	○
	岡村 壺	(一社)GOSEA 海洋深層水利用学会 事務局長理事	○
	山城 晶	久米島町教育委員会	×
	大城 将司	久米島町農業委員会	×
	藺田 眞理	久米島商工会 会長	×
	内間 仁春	久米島町観光協会 会長	○
	大兼久 勝彦	JAおきなわ久米島支店 支店長	×
	田端 裕二	久米島漁業協同組合 組合長	×
	宮里 一弘	沖縄振興開発金融公庫 課長	○
	與那 明子	久米島町女性会 会長	○
	吉本 景太	久米島町社会福祉協議会 事務局長	○
	幸地 伸也	久米島町総務課 課長	○
	吉永 みゆき	久米島町福祉課 課長	○
	古堅 宗治	久米島町教育課 課長	○
	宮里 みかよ	久米島町こども未来課 課長	○
事務局	當間 直也	久米島町企画財政課 課長	○
	城間 忠	久米島町企画財政課 班長	○
	村吉 奈緒美	久米島町企画財政課 主事	○
	山城 一斗	(株)国建 まち・しまデザイン部	○
	上机 竜介	(株)国建 まち・しまデザイン部	○
	宮里 公輔	(株)国建 まち・しまデザイン部	○

次第	配布資料
5. 開会 6. 開催報告 <ul style="list-style-type: none"> 第 4 回職員ワーキング 住民ワークショップ 7. 審議 <ul style="list-style-type: none"> ③ 基本施策 ④ リーディングプロジェクト 8. 閉会	次第 資料 1：基本施策（素案） 資料 2：リーディングプロジェクト（修正案） 参考資料 1：第 2 回庁内委員会及び第 4 回審議会議事録・議事概要 参考資料 2：開催報告 参考資料 3：基本施策紙面レイアウトラフ

—議事概要—

No.	意見要旨	対応
資料①前期基本計画_基本施策(素案)【資料1】【参考資料3】		
◆生活・暮らしについて(施策 01～施策 05)		
1	施策 02:「クラス数減少」は事実と異なり、正しくは「生徒数が減少」。また、教職員の異動率が高く教育の継続性に影響している点を追加すべき。	記述を修正する。教職員の異動率に関する課題は施策検討に反映する。
2	施策 03:高齢者・障がい者支援において民生委員等の地域支援人材の育成は不可欠であり、施策に位置づけるべき。	施策検討に反映する。
3	施策 03:所管が「【福祉】」となっているが、【医療】が適切ではないか。	担当課の整理を再検討する。
4	施策 03:「障がい福祉サービス」「障がい福祉サービスの質向上」という記載は対象が限定的であるため、「障がい」を外すなど表現を広げるべき。	施策に反映する。
5	施策 04:課題を踏まえた定量的な KPI を設定する必要がある。	施策検討に反映する。
6	施策 04:防災機能を備えた県営公園の整備を進めるべき。	施策検討に反映する。
◆生業・産業について(施策 06～施策 11)		
7	施策 09:来訪者対応機能について「整備が進んでいる」という記述は事実と異なり、現状は「更新・強化が進んでいない」が正しい。	記述を修正し、更新・強化の必要性を施策検討に反映する。
8	島内 Wi-Fi の全域整備を推進すべき。	施策検討に反映する。
9	海洋深層水は分野横断的資源であるため、「製造業」扱いが適切か再検討すべき。	分類の妥当性を検討する。
10	地消地産の観点から観光業・製造業等の連携により、島内で創り出した高付加価値の財やサービスをわざわざ「消費するために来島する仕掛け」が必要。	施策検討に反映する。
◆自然・環境について(施策 12～施策 15)		
11	地域資源を外部へ発信する仕組みを整備すべき。	施策検討に反映する。
12	文化財の保全・管理体制が不十分であり、適切な仕組みの構築が必要。	施策検討に反映する。
◆統合について(施策 16～施策 20)		
13	外国人労働者の受け入れ体制整備を進めるべき。	施策検討に反映する。
14	施策 19:行政 DX の方向性は妥当だが、住民にも分かりやすい表現へ修正すべき。	適切な文言を検討する。

基本施策の紙面レイアウト案について		
15	基本施策の構成は、現状と課題を分けた(案2)わかりやすい。	(案2)の方向性で検討。
16	基本施策の紙面に「住民意向」欄を設け、住民の参加意欲向上につなげるべき。	レイアウト検討に反映する。

No.	意見要旨	対応
資料②前期基本計画__リーディングプロジェクト(修正案)__【資料2】		
1	LP3:挑戦する個人を支援する仕組み(クラウドファンディング等)を町として導入すべき。	施策検討に反映する。
2	ものづくりのブランディング強化のため、歴史・文化情報を電子化し発信すべき。	施策検討に反映する。
3	リーディングプロジェクトは、十分に精査したうえで、大きな目標(KPI)を設定すべきだ。	施策検討に反映する

—議事録—

4. 開会

- 開会のあいさつ(城間班長)

5. 審議事項

③ 前期基本計画__基本施策(素案)【資料1】【参考資料3】

(事務局より資料説明)

事務局	資料1の補足として、前回第4回審議会から施策数を 21 から 20 に変更している。「施策 21_空間構想実現に向けた取り組み」は、内容が他の施策と重複するため、事務局で整理し、施策 21 で示す視点(「土地利用」「交通」「拠点整備」)は既存施策でカバーできると判断した。そのため、施策 21 は不要と判断した。
◆生活・暮らしについて(施策 01～施策 05)	
半嶺委員	「施策 02:現状・意向(●高校教育)」について。現在、久米島高校は 10 年前からクラス数は減っていないため、「クラス数が減少している」ではなく「生徒数が減少している」と記載する方が事実に沿う。 また、施策 02 には「職員数の異動率が高い」という現状の課題も追加すべきだと考える。現在、教職員の異動率が高く、教育の継続性に影響しているためである。
小島委員長	現状の問題として、教職員の異動率が高いとあるが、町が対策を講じるとしたら、具体的にどのような取り組みが考えられるか。
半嶺委員	対策として、久米島町教育委員会が沖縄県教育委員会に対し、異動率の低減を要請する方法が考えられる。具体的には、異動率が高い若手教員の派遣を減らし、中堅教員の派遣を増やすよう調整を求めることが有効ではないか。
小島委員長	半嶺委員の意見を踏まえ、町はまず教育の課題を認識し、そのうえで具体的な方策につなげていく必要がある。
事務局	半嶺委員の意見を踏まえ、施策 02 は現状に即した内容に修正したい。併せて、高校の魅力化と教職員の高い異動率への対応を反映した内容にしたい。
津波委員	「施策 03:具体方策(3.福祉の充実)」に民生委員の人材確保に努めると記載があるが、確認になるが現時点民生委員は何人いるのか。
吉永委員	民生委員の定員は 23 人であるが、定員から 10 人足りていない。2025 年 12 月に新規応募があるものの、引き続き 10 人不足する見込みである。
津波委員	久米島町では高齢化が進み、障がいのある人や認知症の人が増えているため、民生委員の支援は欠かせない。特に高齢者にとって、民生委員の存在は重要である。 「施策 04:現状・住民意向(共生社会)」では、包括的な共生体制が整っていないと指摘されている。かつて実施していた「サポーター養成の取り組み」は、活動が途絶えており、育成した人材を活かせずにいる。町は、地域を支える人材育成に改めて取り組む必要がある。 これらの課題は、災害や環境など多分野に影響する重要な論点である。しかし、現在の文言では高齢者に関する問題が示されているものの、具体的な内容が読み取りにくい。
事務局	【資料1】は基本計画の基本施策であり、これを基に具体的な実施計画を作成する構成となっている。しかし、いただいた意見を踏まえ、実施計画を策定する際に内容を読み取りやすくするため、表現を改めたい。

宮里委員	施策の中で具体方策とリーディングプロジェクトの対応が示されていない具体施策は、どのような取扱いになるのか。また、「施策 04:現状設定」は具体的に示されている一方で、「施策 04:評価の指標(KPI)」は住民アンケートによる定性的な内容となっているが、評価指標は、課題を踏まえ、定量的な KPI として設定すべきではないか。
事務局(コンサル)	リーディングプロジェクトについては、関連する施策を「久米島らしく持続的に発展していくために優先的に取り組むべきもの」と位置づけている。一方、リーディングプロジェクトとのつながりがない施策についても、引き続き推進すべきものと考えている。 評価指標については、現在は仮置きであり、今後町と調整しながらより適切な指標に見直していく。現時点で定性的な評価指標を設定しているのは、具体的な課題が達成された結果として、最終的に町民の生活がどう改善するかに主眼を置いたためである。しかし、ご指摘のとおり、定量的な KPI を加えることで、より客観的かつ実効性のある評価が可能になると考えており、今後の検討に活かしたい。
吉本委員	「施策 3:具体的方策」において、「2)医療体制の充実【福祉】」と記載しているが、所管としては福祉よりも医療が適切ではないかと考える。 また、「3)福祉の充実★LP1-1【福祉】」では、「障がい福祉サービス」と記載しているが、なぜ「障がい」に限定しているのか疑問である。介護など他の福祉分野も重要であるため、「障がい」を外して「福祉サービスの質向上」とした方が適切ではないか。同様に、「障がい者の自立支援」についても、「障がい」を外して「自立支援」とする方がより妥当だと考える。
事務局	いただいた意見を踏まえ、より適切な表現に修正していく。
與那委員	具体的な提案として、島内交通については、大型バスの待ち時間が長く、利用者が少ない現状がある。これらを踏まえると、より小型のバスに切り替えた方が、特に高齢者を中心とした島内利用者にとって適切ではないか。
事務局	いただいた意見を踏まえ、「施策 04:交通」の施策検討に反映したい。また、この内容は庁内の担当課とも共有したい。
◆生業・産業について(施策 06～施策 11)	
内間委員	「施策 09:現状(施設整備・利活用の推進)」では「来訪者対応機能の整備が進んでいます」と記載があるが、実際には来訪者対応機能の更新が進んでいないのが現状である。 したがって、この機能の更新・強化を施策に追加してほしい。 また、観光客への対応としては、環境整備の効果が高いため、島内 Wi-Fi の全域整備を推進すべきである。さらに、久米島の海洋深層水は日本で唯一の施設であり、学会や視察・研修等の MICE を誘致できる施設としても高い潜在力を持つ。町として海洋深層水の利活用をさらに推進すべきである。
事務局	「施策 09:現状(施設整備・利活用の推進)」の記載は、正しい内容に修正する。また、海洋深層水に関する提案内容は担当課に共有し、施策として盛り込むかを検討する。
小島委員長	海洋深層水について、岡村委員から意見をいただきたい。
岡村委員	海洋深層水は、「久米島モデル」として商品開発や研究に加え、施設周辺の良好な環境を生かした観光要素も持つ。海洋深層水は他分野との連携による展開にも活用できる。 また、海洋深層水の分類が製造業となっているが、この分類が適切か検討してほしい。海洋深層水は分野横断的な性質が強いと考える。

宮里委員	地消地産は基本施策の各所で扱われており、「地域で生産されたものを地域で消費すること」として記載されている。加えて、地域で高付加価値の財やサービスを開発し、それをわざわざ“消費するために来島する”という仕掛けをつくれば、観光客を呼び込むことができる。この仕掛けは、観光業と製造業等を結びつけ、経済波及効果を生み出すと思われるため、施策展開に反映してはどうか。
◆自然・環境について(施策 12～施策 15)	
半嶺委員	「施策 13」に関連する久米島の文化・歴史教育について、施策では久米島の文化・歴史の重要性を示しているにもかかわらず、学校で子どもに教えるための専用教材が整備されていない。
教育課長	小学 3・4 年生向けに、自然や地形等を学ぶ教材(社会科副読本)を教育委員会が独自に作成している。次回の改訂では、中学生や他の学年の小学生も対象にした教材へと更新していきたい。
小島委員長	久米島に地域資源を、外部へ発信する仕組みを整えることが重要だと考える。
與那委員	久米島紬は貴重な地域資源であり、その価値を生かして推進できる仕組みを整えてほしい。
内間委員	文化財の保全や維持管理が十分に行き届いていない。久米島の重要な文化・歴史を守るため、適切に保全・維持管理できる仕組みを整えてほしい。
◆統合について(施策 16～施策 20)	
津波委員	久米島はメディアに取り上げられる機会が少ない。もっと積極的に情報発信できる仕組みを整えるべきだと考える。
事務局	いただいた意見は、「施策 18 情報発信力の強化」の検討に反映する。
内間委員	災害時の避難機能を備えた、町民の憩いの場となる県営公園の設置を推進すべきだと考える。また、人手不足の状況を踏まえ、外国人労働者の受け入れ体制についても町として検討を進めるべきである。
吉本委員	「施策 19:課題設定(効率的な行財政運営)」にある DX 推進による業務効率化は、行政だけでなく福祉分野にも共通する重要な要素であり、積極的に推進してほしい。一方で、「情報資産の電子化、ナレッジマネジメント、行政プラットフォーム」といった記載は表現がわかりにくい。製本時には、町民がより理解しやすい表現に改めてほしい。
半嶺委員	ごみ問題を含め、子どもへの環境教育を強化してほしい。また、海洋深層水は観光だけでなく教育面でも活用できると考える。例えば、海洋深層水関連の事業で働く人材を学校の講師として招くなどの取り組みも有効ではないか。
津波委員	地域子育て支援団体などから寄せられる意見や情報提供を、総合計画の策定においてどのように扱うのか。
事務局	町民から寄せられた意見は担当課に改めて確認し、その上で施策として検討する。
参考資料 3 : 基本施策紙面レイアウトラフについて	
事務局(コンサル)	第三次総合計画の製本に向けて、【資料1:基本施策(素案)】は【参考資料3:基本施策紙面レイアウトラフ】のように、表現や文字量の調整を今後行っていく予定である。その際、基本施策の構成について、(案1)「現状と課題を一括で整理する方法」と(案2)「現状と課題を区分して整理する方法」のどちらが望ましいか、

	<p>ご意見をいただきたい。</p> <p>(案1)は、第2次総合計画と同様に現状と課題をまとめて記載するため、文字量を抑えられ、住民にとって読みやすいという利点がある。一方、(案2)は現状と課題を分けて整理するため文字量は増えるが、町職員にとって「現状→課題→施策展開」という計画立案の流れが理解しやすく、業務への活用にもつながる。</p>
小島委員長	基本施策の紙面レイアウト案を踏まえ、(案1)と(案2)のどちらが望ましいか意見を求める。
津波委員	現状と課題は分けて記載した方が分かりやすいと考える。
教育課長	基本施策の紙面レイアウト案を整理するにあたり、「住民意向」の項目を設けることを提案する。この項目を設けることで、住民のまちづくりへの意欲向上を促せる。

④ 前期基本計画「リーディングプロジェクト(修正案)」【資料2】

(事務局より資料説明)

岡村委員	「リーディングプロジェクト3」に関して、久米島の産業は属人的であり、新しいことに挑戦する個人をクラウドファンディングで支える仕組みが既にある。町としても、こうした挑戦を後押しする仕組みを導入してはどうか。
事務局	いただいた意見を施策検討に反映する。
宮里委員	ものづくりなどのブランディングを検討する際に、歴史や文化は重要な要素である。ブランディングに取り組む者や、久米島の歴史文化を学ぶ者が情報を手軽に入手できるよう、行政の情報資産のうち提供可能なものは電子化して多くの人が利用できる仕組みをつくってはどうか。
教育課長	リーディングプロジェクトには、大きな目標(KPI)を設定した方がよいと考える。目標は十分に精査してほしい。また、人材育成・住宅整備・観光など、取り組みが弱い分野にも積極的に取り組んでほしい。

6. 閉会

- 今後の計画策定に向けた進め方の確認(城間班長)
- 閉会の挨拶(當間課長)

以

